

## 京の賃貸住宅業界

## 留学生積極受け入れ



フラットエージェンシーが改築したアパートには、留学生と日本人学生が交流できる談話室を備えている(京都市北区)

京都の賃貸住宅業者が海外からの留学生の受け入れを積極化している。日本人学生との交流を促すために建物を改修するなど留学生の生活支援も強化している。留学生の増加に加え、空き室が目立っていることも背景にあるようだ。

京都市北区の住宅管理 済と中国の留学生20人が会社フラットエージェンシーに入居した。シイは10日、同区にある 同社は、同志社大や立築35年の学生アパートを 命館大などと提携して留学生と日本人学生が交 学生に住居をあつせんし流できるアパートに改築している。一昨年に20人だった。入居者同士で会話 った留学生の仲介人数はや食事が楽しめる談話室 昨年、240人に急増しを設けたのが特徴で、台 た。今年は300人以上

談話室設置 生活支援に力  
家主に冊子

住宅管理協会京都府支部とも寮の拡充などに力をは近年、留学生の支援体制を強化してきた。文化や言葉の違いを嫌って入居を拒む家主がいるため、対策に乗り出している。フラット社の吉田光一留学生向けに「ごみの出し方や近隣とのつきあい方を教える冊子やDVDを家主に配布しているほか、留学生向けの住宅ある。業界全体で留学生への支援を強化したい」と話している。

同支部によると、留学

(吉永周平)

## 空き室増も背景に

を見込んでいる。京都市内の留学生数は約5400人に上り、10年前に比べて倍増している。留学生に対する業者の理解が進んだ。京都市大と同志社大、立命館大が留学生数を30万人に増やす国の計画(グローバル30)の拠点校になったことから、京都の留学生は今後さらに増加する見通し。

府内の不動産管理会社り、前年度比15%上昇し約70社でつくる日本賃貸た。府国課は「各大学

生が入居できる府内の賃貸物件は10年前に比べて数倍に増えた。留学生に

対する業者の理解が進んだ。京都市大と同志社大、立命館大が留学生数を30

万人に増やす国の計画(グローバル30)の拠点校になったことから、京

都の留学生は今後さらに増加する見通し。

府内の不動産管理会社り、前年度比15%上昇し約70社でつくる日本賃貸た。府国課は「各大学

生が入居できる府内の賃貸物件は10年前に比べて数倍に増えた。留学生に

対する業者の理解が進んだ。京都市大と同志社大、立命館大が留学生数を30